

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表日：2025年9月20日

事業所名：児童発達支援 こばんはうすさくら八千代台教室

対象人数（保護者）38人 回答者数 33人 回収 86.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	6		3	全ての部屋を拝見したわけではないので一階は利用者数によっては狭いかもれない	危険な箇所への安全対策をより徹底し、お子様が安心して過ごせる教室づくりを引き続き推進
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	3		3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	2		5	ワンフロアなので自由遊びのときはパーティションのように部屋に区切りがあっていいと思う	自由遊び時に、場所が固まらないよう現在も配慮 パーティションは危険なケースもあるため、シールを貼るなどの対応を追加検討
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	2		1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	4		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	2		2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	2		1	日々の行動記録を細かく書いていただいています。	個別支援計画に沿った連絡帳対応を丁寧に継続
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1		2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	8	11		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	6	10		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	4				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27		1	5		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	2		2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	7	3	11	12		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	5		5	コメント、メッセージ等を送っても返信がないことがある。	保護者からの連絡内容について漏れなく丁寧に適時対応する事を改めて徹底
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30		1	2	hugの提供記録に載っている写真にお友達顔入の名札がよく映り込んでいる。名前はさすがに載せないで欲しいです。	職員に対し、ハウスルールとして周知 連絡帳公開時に再チェックを実施
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	5		9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1		10		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	3		4	毎回ではないが怪我等の報告がなく、子どもから直接聞くことがある。	職員が気が付かないケースも可能性としてあるが、登所時・支援中・退所時などのチェックを再度徹底 保護者への連絡については、安全第一の視点で実施して行くことを改めて徹底
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	2	1	1	時々、行きたくない！と泣きそうな顔で訴えることがある。うるさすぎる、意地悪ばかりの子がいるから行きたくないということもあり、子どものメンタル部分までケアできていないように感じる。	集団療育における個別指導を引き続き推進 お子様の気になるサインを見逃さず、職員間で共有・対策の検討を図って行く
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	4	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	3				

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表日：2025年9月20日

事業所名：児童発達支援 こばんはうすさくら八千代台教室

対象人数（職員）7人 回答者数 7人 回収 100.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
【環境・体制整備】	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	利用人数のシステムチェック	訓練室スペースはこばん他事業所との比較においても適切である
	②職員の配置数は適切であるか	7	0	0	勤務シフトの事前確認 毎日の役割・担当設定	職員毎の担当児童数は事前に確認して設定しており適切である。
	③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	0	窓の二重施錠、扉の施錠	日々の定例会でヒヤリハットを共有、安全対策を図る
	④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	1	業務終了後に毎日清掃 TEACCHメソッドに基づく、構造化・可視化	より安全に落ち着いて過ごせる環境づくりを推進
【業務改善】	⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	0	朝礼・終礼の毎日開催 定例会の平日開催 職員会議の月次開催	職員が参画するための場合は十分に用意 オープンな議論醸成に向け、ハウスルール整備に着手
	⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	多様なチャネルを用意	保護者ニーズをとらえ取り組みは引き続き推進
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0	毎年実施	HP公表に加えて、スタッフルームにも掲示
	⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3	0	未実施	今後検討
【適切な支援の提供】	⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	各種研修を提供	中途入社社員の研修受講を着実に進める
	⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	1	0	AITアセスメントツール導入 5領域毎の発達状況を可視化	ツールを使いながら、対応のレベルアップを図って行く
	⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	0	AITアセスメントツール導入 5領域毎の発達状況を可視化	ツールを使いながら、対応のレベルアップを図って行く
	⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	0	アセスメント時に保護者ニーズを 丹念に聞き取り	家族支援中心に支援の質と幅を広げて行く
	⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	0	個別支援計画に基づいた振り返りを日々実践	現在の取組みを継続推進
	⑭活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	1	プログラム企画の提案仕組みあり 実施状況のPDCAを実施	職員の負担軽減とのバランスを模索
	⑮活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	0	5領域毎の集団プログラムを月次更新（日替わりで実施）	子どもたちの反応を見ながら、新規プログラムの追加・既存プログラムのブラッシュアップを図る
	⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6	0	1	集団療育における個別の支援の取組みを日々実践	専門的支援の対象児童・内容の拡充を図る
	⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	1	放デイ職員の日次定例会で事前打ち合わせを実施	現在の取組みを継続推進
	⑱支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	終礼に加え、翌日の定例会で振り返りを実施	定例会でのPDCAを徹底に推進
	⑲日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	個別支援計画に基づいた振り返りを日々実践	現在の取組みを継続推進
	⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	スケジュール表に沿って対応	既に目標を達成した児童については前倒しで計画見直しを図って行く
【関係機関や保護者との連携】	㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	0	現在は機会が無いため未実施	機会があれば積極的に参加
	㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	0	小字校・保護者との情報連携を毎月実施	現在の取組みを継続推進
	㉓（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	5	1	対象児童ナシ	
	㉔（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6	0	対象児童ナシ	
	㉕移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	0	課題が大きな児童中心ではあるが、適宜情報共有を実施	現在の取組みを継続推進
	㉖移行支援として、小学校や特別支援学校（小学校）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	0	対象児童ナシ	
	㉗他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	0	現在は機会が無いため未実施	
	㉘保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	3	公園遊びや外出イベントなどでの交流	現在の取組みを継続推進
	㉙（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	2	現在は機会が無いため未実施	
	㉚日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0	連絡帳を主体に情報連携	保護者参観、個別相談会などを今後企画
	㉛保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	1	3	実施難度高くベンディング中	職員の技量向上を優先に進める
【保護者への説明責任等】	㉜運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	新規契約時や個別相談時に丁寧に説明	現在の取組みを継続推進
	㉝児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	0	個別支援計画更新前にも丁寧に説明・同意を得ている	現在の取組みを継続推進
	㉞定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	連絡帳を主体に情報連携	保護者参観、個別相談会などを今後企画
	㉟父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	4	連絡帳を主体に情報連携	保護者参観、個別相談会などを今後企画
	㊱子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	苦情発生時の対応を整備	
	㊲定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	毎月保護者向けに告知	
	㊳個人情報の取扱いに十分注意している	6	1	0	個人情報漏洩に配慮した文書管理などを実施	
	㊴障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	多様なチャネルを用意	
	㊵事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	3	現在は機会が無いため未実施	こばんの他事業所の事例を参考に実施を検討
	㊶緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	0	新規契約時や個別相談時に丁寧に説明	
【非常時等の対応】	㊷非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	こばん本部と連携し、スケジュールに沿って各種訓練を実施	
	㊸事前に、販案や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	0	販案、予防接種の情報は都度保護者より受領 てんかん発作は対象児童ナシ	
	㊹食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	0	対象児童ナシ	
	㊺ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	ヒヤリハットは事象発生時に作成、職員回覧実施	
	㊻虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	こばん本部と連携し、スケジュールに沿って各種研修を実施	
	㊼どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	1	対象児童ナシ	